

名古屋市博物館特別展

文字のチカラ

古代東海の文字世界

2014年

1月4日(土)

2月16日(日)

開館時間 午前9時30分—午後5時(入場は午後4時30分まで)
 休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその直後の平日)・第4火曜日
 会期中の休館日: 1月6日(月)・14日(火)・20日(月)・27日(月)・28日(火)・2月3日(月)・10日(月)

主催 名古屋市博物館、愛知県立大学、愛知大学、文化庁
 連携大学 名古屋市立大学
 協力 古代の文字と文物の研究会、国立歴史民俗博物館、奈良文化財研究所

名古屋市博物館

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1
 電話 052(853)2655 / FAX 052(853)3636
<http://www.museum.city.nagoya.jp>



◎陶印「美濃」 老洞1号窯跡出土 岐阜市歴史博物館蔵

千年の時を超えて 古代日本人と出会う



◎墨書土器「いろは歌」 斎宮跡出土 斎宮歴史博物館蔵

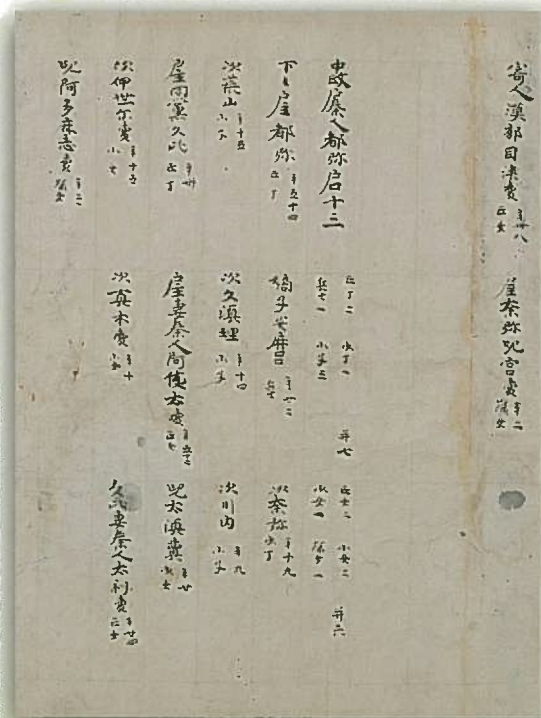


◎古事記 大須観音堂生院蔵

◇木簡「御賀」 伊場遺跡出土 浜松市博物館蔵(展示期間: 1月21日~2月2日、他期間は複製を展示) 写真: 奈良文化財研究所提供



◎鳥形硯・羊形硯 斎宮跡出土 斎宮歴史博物館蔵



◎御野国加毛郡半布里大宝二年戸籍断簡 個人蔵



◎木簡「御賀」(篠島海部木簡群のうち) 平城宮跡出土 奈良文化財研究所蔵(展示期間: 1月4日~19日) 写真: 奈良文化財研究所提供



市バス・地下鉄でのおでかけが便利でお得です。

ドニチエコきっぷ・一日乗車券を利用してご来館の方は観覧料100円割引!

文字のチカラ

古代東海の文字世界

弥生時代に文字(漢字)と出会った日本人。やがて彼らは、必要に応じて文字を使い、木・布・土器・金属・石そして紙などにその活動を記しました。そのほとんどは伝わることなく失われてしまいましたが、千年以上も土中で眠り続け、奇跡的に朽ちることなく残った木簡など、新たな文字資料も続々と発見されています。私たちが手にすることのできる文字遺産から古代の新世界があらわになってきました。

この展覧会では、近年の発掘や研究の成果をまじえながら、東海地方と関係する数多くの木簡を中心に、さまざまな文字資料から見えてきた古代日本人の活動を紹介します。

【展覧会の構成と主な展示資料】

第1章 文字との出会い

漢字を知った日本人と文字に現れた古墳時代以前の日本

● 墨書土器 貝蔵遺跡出土 松阪市教育委員会蔵

「王賜」銘鉄剣 稲荷台1号墳出土 市原市教育委員会蔵

第2章 文字を取り入れる

大陸・朝鮮から導入した文書による政治の仕組みが東海へ

● 漢書食貨志 大須観音宝生院蔵

● 篠島海部贊木簡群 平城宮跡出土 奈良文化財研究所蔵

第3章 文字で記録する

習い覚えて書いた記録と文書を通して見えてくる活動

● 鳥形硯・羊形硯 斎宮跡出土 斎宮歴史博物館蔵

● 御野国加毛郡半布里大宝三年戸籍断簡 個人蔵

第4章 文字の花が咲く

文字を使いこなして、歌、神仏の世界までを日本語で表現

● 古事記 大須観音宝生院蔵

● 日本書紀 熱田神宮蔵

本展は、名古屋博物館と愛知医科大学、愛知大学、名古屋市立大学の共同企画による展覧会です。

「王賜」銘鉄剣 稲荷台1号墳出土 市原市教育委員会蔵
 ●日本書紀 熱田神宮蔵

より展覧会を楽しめるイベント満載

記念講演会 講堂(先着220名、聴講無料)

1月26日(日) 午後2時～ 「出土文字から見た地方社会」 講師: 平川南氏(国立歴史民俗博物館長) ※12時30分から整理券配布、1時30分開場

シンポジウム 講堂(先着220名、聴講無料)

2月2日(日) 午後1時30分～4時 「古代東海の文字世界」 司会: 大飼隆(愛知県立大学教授) 古代の東海地方は、文字をどのように取り入れ、使っていたか。大陸や都との交流、他の地方と異なる特色など第一線の研究者が知見を結集します。 ※12時から整理券配布、1時開場

講座 展示説明室(先着100名、聴講無料)

1月5日(日) 午後2時～3時 「科学の目で文字を見る」 肉眼で見えない文字が見えてくる! 奈良時代の実物史料などを用いて、赤外線カメラによるビックリ体験をしましょう。

展示説明会 展示説明室(先着100名、聴講無料)

1月11日(土) 午後2時～3時30分 「千年の時を超えて古代日本人に出会う」 当館学芸員がこの展覧会の見どころを解説します。

歴史体験教室 展示説明室(定員各20名[要事前申込]、小学校3年生以上、参加無料)

1月12日(日) 第1回: 午前10時～11時30分、第2回: 午後2時～3時30分 「木簡を作る」 丸太を削って整えた板に古代のつくりに近い筆とやきものですった墨を使って、自分だけの木簡を完成させます。

【申込方法】名古屋電子申請サービスまたは往復はがきにて
 [電子申請] <https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp>
 [往復はがき] 氏名(1通2名まで)、年齢・学年、郵便番号・住所、電話番号を明記して、〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1 名古屋博物館「木簡を作る」係まで。
 募集期間: 11月3日(日)～12月1日(日)(締切日必着、応募者多数の場合は抽選)

総合発表会 展示説明室(参加無料)

1月19日(日) 午前10時～12時、午後1時～4時 「古代文字世界への招待」 大学院生・学生が文字にまつわる魅力をさまざまな方法でわかりやすく発表します。

展示品解説 展示室内[要観覧券]

1月18日(土)・2月1日(土)・8日(土)・9日(日) 午前10時30分～12時、午後1時～3時 展示資料の前で、大学院生・学生がそのおもしろさをお話します。

●日本書紀 熱田神宮蔵



国宝2件、重要文化財8件を含む 200点余を展示

資料保全のため、会期中、展示資料の入れ替えをします。
 各資料の展示期間については公式webサイトでご確認ください。



●銅印(伊保集印) 豊田市郷土資料館蔵

♪万葉びとの声

古代の読み方を復元して万葉集の歌を聴いていただきます。発音やアクセントの違いに、きっと驚かれることでしょう。

展示室にも楽しい工夫が

集まれ好奇心! やさしいクイズなどを通して古代の文字を読みといてみよう。展示室を出た時、あなたも学者の卵に!

今日からプチ博士

●特別展「文字のチカラ」展 観覧料

	当日	団体(20名以上)
一般	600円	400円
高大生	300円	100円
中学生以下	無料	

- 名古屋交通局の一日乗車券・トニチエコきっぷを利用して来館した方は、当日料金から100円割引。
- 本展観覧券で、2階常設展もご覧いただけます。
- 身体等に障がいのある方は手帳の提示により、本人と介護者2名まで当日料金の半額になります。
- 各種割引は重複してご利用いただくことはできません。

●会場へのアクセス

名古屋博物館は、名古屋市営地下鉄桜通線「桜山」下車、4番出口から徒歩5分